

一橋大学名誉教授 浜林 正夫

## 軍隊を持たない国々と 改憲派の時代錯誤

戦前から軍隊を持つていなかった国は、アン  
ドラ、パチカン、モナ  
コ、リヒテンシュタインの  
4カ国のみで（そのほかに  
おそらくサンマリノ、あ  
とはほとんどすべて第2次  
大戦後に独立した国です。  
軍備をやめた年代別に見る  
と、1940年代2カ国、  
50年代はゼロ、60年代が5  
カ国、70年代が6カ国、80  
年代が6カ国、90年代が3  
カ国、不明2カ国で、半分  
以上が1970年代以降で  
す。すべて人口1千万以下の  
小さな国で、いざという  
ときには外国に頼る国もあり  
ます。ルクセンブルクは自  
分の軍隊は持っていません  
が、NATOへは志願兵を  
出しています。したがって、  
軍隊を持たないといっても  
実態にはさまざまなケース  
がありそうですが、しかし、  
考えてみれば、現在の世界  
で中小の国々は軍隊を持つ  
てみても大国に襲われたら  
ひとたまりもありません。  
フランスやイギリスのよ  
うな核兵器を持っている大  
国でも、独自に戦争をする  
ことは不可能でしょうし、  
核兵器などは無用の長物で  
はないでしょうか。  
そうすると軍隊というも  
のは、現在の社会では超大  
国以外はあまり実用性はな  
いといつてよいように思  
います。  
軍隊を持つよりも中立政  
策をとる方が、よほど賢明  
ではないでしょうか。  
日本の憲法違反の自衛隊  
もアメリカの無法な戦争の  
手伝いと災害出動をする以  
外には、役に立ちそうもな  
いのに、いまだき自衛隊を  
自衛軍に格上げしようとい  
うのですから、改憲派の時  
代錯誤もはなほだしいとい  
うべきでしょう。

軍隊を持たない国という  
とコストリカが有名です  
が、そのほかにもたくさん  
あります。  
深瀬忠一さんの『戦争放  
棄と平和的生存権』（岩波  
書店、1987年）では、  
コストリカのほかにアイ  
ランド、リヒテンシュタイ  
ン、サンマリノなど10カ国  
が挙げられています。今  
年埼玉の戦争展で配られた  
資料によると軍隊を持たな  
い国は29カ国もあるとされ  
ていて、おどろきました。  
このうち、第2次世界大  
戦後はゼロ、60年代が5  
カ国、70年代が6カ国、80  
年代が6カ国、90年代が3  
カ国、不明2カ国で、半分  
以上が1970年代以降で  
す。すべて人口1千万以下の  
小さな国で、いざという  
ときには外国に頼る国もあり  
ます。ルクセンブルクは自  
分の軍隊は持っていません  
が、NATOへは志願兵を  
出しています。したがって、  
軍隊を持たないといつも  
実態にはさまざまなケース  
がありそうですが、しかし、  
考えてみれば、現在の世界  
で中小の国々は軍隊を持つ  
てみても大国に襲われたら  
ひとたまりもありません。  
フランスやイギリスのよ  
うな核兵器を持っている大  
国でも、独自に戦争をする  
ことは不可能でしょうし、  
核兵器などは無用の長物で  
はないでしょうか。  
そうすると軍隊というも  
のは、現在の社会では超大  
国以外はあまり実用性はな  
いといつてよいように思  
います。  
軍隊を持つよりも中立政  
策をとる方が、よほど賢明  
ではないでしょうか。  
日本の憲法違反の自衛隊  
もアメリカの無法な戦争の  
手伝いと災害出動をする以  
外には、役に立ちそうもな  
いのに、いまだき自衛隊を  
自衛軍に格上げしようとい  
うのですから、改憲派の時  
代錯誤もはなほだしいとい  
うべきでしょう。